

《研究課題名》

機械学習を用いた黄斑円孔の術後視力予測モデルの精度の検証研究

《研究対象者》

2020 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日の間に滋賀医科大学附属病院で、2009 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日の間に蘇生会総合病院で黄斑円孔に対して手術を受けられた方。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学(蘇生会総合病院からのデータの提供あり)で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究課題名》

機械学習を用いた黄斑円孔の術後視力予測モデルの精度の検証研究

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日(年 月 日) ~ 2025 年 3 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 眼科 柿木雅志

(2) 研究の意義、目的について

《意義》

黄斑円孔の術後の視力予測に関して影響のある因子としては、術前視力、黄斑円孔底径が現在までに指摘されていますが、ただし、そのみでは術後視力を予測するには困難です。私たちは以前の研究で人工知能を用いて、術前 OCT 画像からの術後視力予測モデルを作成しました。

今回、滋賀医科大学医学部附属病院と蘇生会総合病院のデータを用いて、人工知能による術後視力予測モデルの術後視力の予測精度を検証します。

《目的》

人工知能による術後視力予測モデルの術後視力の予測精度を検証することです。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》

カルテから適格基準に合致する患者さんを探し、直接患者さんの個人情報 that 特定できない状態にして、評価項目のデータを入力します。

オプトアウト

《利用する情報の項目》

年齢、性別、左右、眼軸長、OCT 画像とその信号強度、水晶体の有無、術前手術眼視力、術前反対眼視力、術後 1、3、6 ヶ月視力、術後視力に影響を及ぼしうる疾患の有無、術後経過観察期間中に視力に影響を及ぼしうる可能性のあるイベントをカルテより抽出します

《情報の管理について責任を有する者》

眼科学講座 柿木雅志

《本研究に用いた情報の二次利用について》

予定はしておりません。

（４）個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして、ご提供いただいた情報が誰のものか分からない状態にして使用します。ただし、必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の情報を結び付けることができる対応表を作成いたしますが、この対応表は施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 眼科学講座 小幡峻平

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2276

メールアドレス：hqophth@belle.shiga-med.ac.jp

